

長寿の方に学ぶ 暮らしの秘けつ調査

ご協力をお願い

東京大学高齢社会総合研究機構 特任講師 菅原育子
東京大学高齢社会総合研究機構

// 大学院新領域創成科学研究科講師 二瓶美里
大阪大学人間科学科 准教授 権藤恭之

拝啓 残暑の候、みなさまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私どもは、誰もが豊かに自分らしく暮らせるために必要な支援について研究をしているグループです。

この度、柏市にお住まいの 90 歳以上の方を対象に、日々の暮らしについての調査を実施させていただくことになりました。柏市には現在、4 千人を超える 90 歳以上の方がお暮らしです。みなさまが、暮らしの中でどのような福祉用具や支援サービスを使い、暮らしの工夫をされていらっしゃるか、どんな点に不便を感じていらっしゃるかを明らかにしたいと考えています。

調査の結果は、いつまでも自分らしく豊かに、安全に暮らすための福祉用具の開発や、望ましい社会制度の策定に向けた、市や国への提言に活用する所存です。

なお、みなさまのご住所とご氏名は、**柏市の情報公開・個人情報保護審議会の審査を受けて、承認を受けて、柏市より提供いただいております。**いただいた個人情報は、東京大学の研究倫理指針に則って外部に漏洩しないよう厳密に管理しています。

この調査の結果は、誰の回答かはわからないように個人情報を除いた上で、〇〇と答えた方が〇%いる、という形でまとめ、柏市の関係各所へ報告するとともに、学術論文として公開する予定です。また、国や国際機関などへの提言にも活用させていただく予定です。

つきましては、突然のお願いでまことに恐縮ですが、同封の調査にご協力いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

添付書類：調査用紙一式（8 ページ）、返信用封筒 1 通

お送りしている方：2018 年〇月〇日現在、柏市にお住まいの 90 歳以上の方全員

協力の方法：同封の調査票に直接回答を書き込み、添付の封筒に入れてポストに投函をしてください。

締め切り：2018 年〇月〇日（〇）まで

送付先および連絡先：

〇〇〇〇・・・・

以上

※本調査は、世界保健機構（WHO）との共同研究として実施しています。

共同研究機関：東京大学大学院新領域創成科学研究科・高齢社会総合研究機構、大阪大学人間科学科、東京都長寿健康医療センター

研究協力機関：国立障害者リハビリテーションセンター研究所、トリニティ・カレッジオブダブリン